

# 復旧・復興に関する 住民懇談会

---

令和8年1月



## 水道基本料金の無償化

- 石川県の水道料金無償化に合わせ、対象外となる口径30ミリ以上の契約も輪島市独自支援により基本料金無償化

対象：市内全ての約1万世帯

期間：令和8年1月、2月使用分の2か月分  
(2月、3月請求分)

## くらし応援商品券の配布

- 地域の生活者及び事業者の支援のため、国の重点支援地方交付金を活用し、様々な商品を地元で購入できる地域商品券を配布

対象者：**全市民** (R8.1.1の住民基本台帳登録者)

配布物：1人あたり**20,000円の商品券** (1,000円券×20枚綴り)

配布期間：令和8年2月中旬から下旬 (郵送にて)

使用期間：令和8年3月1日から6月30日の4カ月間



## 子育て応援手当

- 物価高影響を受けている子育て世帯を支援するため、0歳から高校3年生までの子どもに1人2万円を支給

支給対象：0歳から18歳までの子ども(※1)

支給額：子ども1人当たり2万円

支給方法：プッシュ型支給 (申請不要)

支給時期：R8.2月～



- (※1)・R7.9.30までに出生した児童手当支給対象の子ども
- ・R7.10.1～R8.3.31に出生した子ども

- ・生活環境の悪化を防ぐ

## 防草対策

- 公費解体等行った跡地において防草対策を行った者に対し補助金を交付

**上限 3万円**

# 恒久的な住まいの再建に向けた支援

- 国や県の支援に加え、市独自の支援金制度を創設。街並みの再生につなげるためにも、市内での自宅再建をさらに後押し
- 住宅再建が困難な方の住まいを確保するため、災害公営住宅の整備に着手中。必要戸数とされる**975戸**を整備予定

## 住宅新築への支援

被災者生活再建支援金	300万円
地域福祉推進支援臨時特例給付金 ※1	300万円
わじま住まい再建支援金 ※2	300万円
輪島産材活用住宅助成金 ※3	100万円
県義援金	260万円
県義援金 (特別給付4人分)	20万円
市義援金 (4人分)	38万円 <sup>.8</sup>
<b>合計</b>	<b>1318万8000円</b>

【モデルケース】罹災区分が全壊、4人世帯（子育て世帯）の場合

- ※1 家財50万円、自動車50万円を含む
- ※2 建築費から800万円を除いた額を助成
- ※3 輪島産木材を20㎡以上使用

## 災害公営住宅の整備

中央地区	659戸
(うち宅田地区)	150戸
西部地区	188戸
東部地区	128戸
<b>計</b>	<b>975戸</b>



令和9年度中 の入居開始を目指し整備中

## 道路・河川の復旧状況

- 被災を受けた道路路線・河川本数は合計**1,207本**  
うち**約9割**が設計委託業務の**発注済**
- 令和7年度中は発注業務の**約7割**が**設計業務 完了予定**  
**約2割**が**工事 発注済**
- 令和8年度以降においては**約3割**が**設計業務 完了予定**

## 営業再開の状況

○ 発災から2年が経過し、市内の事業者の営業再開は、約8割まで回復

区分	会員数(R5.4)	会員数(R7.4)	再開数	再開率
輪島商工会議所	1,008者	918者	720者	78.4%
門前町商工会	165者	163者	134者	82.2%
計	1,173者	1,081者	854者	79.0%

※ 輪島商工会議所、門前町商工会調べ

## 仮設施設の整備状況

○ 本復旧まで相当期間着手できない被災事業者に対し  
仮設店舗は39店舗、輪島塗仮設工房は85室を整備



仮設工房（杉平町）



仮設店舗（観音町）

## 事業者支援の状況

○ 営業再開のための上乗せ支援に加え、新たなチャレンジや起業をする支援制度を創設し、なりわい再建を後押し

復旧・  
営業再開  
のための  
支援  
(R5.6~)

### なりわい再建支援補助金

- ・被災した施設や設備等の本格復旧を支援
- ・補助率：7/8（国1/2・県1/4・市1/8）
- ・補助上限：国・県15億円、市300万円
- ・市申請数：26件（県申請数：136件）

### 持続化補助金（災害支援枠）

- ・被災した施設等の応急的な復旧を主に支援
- ・補助率：5/6（国2/3・市1/6）
- ・補助上限：国300万円、市50万円
- ・市申請数：142件

### 営業再開支援補助金

- ・早期再開のための仮店舗等の施設整備を支援
- ・補助率：5/6（県2/3・市1/6）
- ・補助上限：国300万円、市50万円
- ・市申請数：107件（県申請数：214件）

新たな  
取組へ  
の支援  
(R7~)

### チャレンジ支援補助金

- ・新たなチャレンジに必要なソフト事業を支援
- ・補助率：5/6（県2/3・市1/6）
- ・補助上限：県300万円、市50万円
- ・市申請数：0件（県申請数：19件）

### 復興チャレンジ・新規出店補助金

- ・既存制度を大幅に拡充し、新規出店等を支援
- ・補助率：1/2（市）
- ・補助上限：1000万円
- ・申請数：6件（他にも複数の相談あり）

### ◇県の起業促進補助金を併用した場合

- ・補助上限：1300万円  
（市1000万円・県300万円）
- ・県補助率：2/3

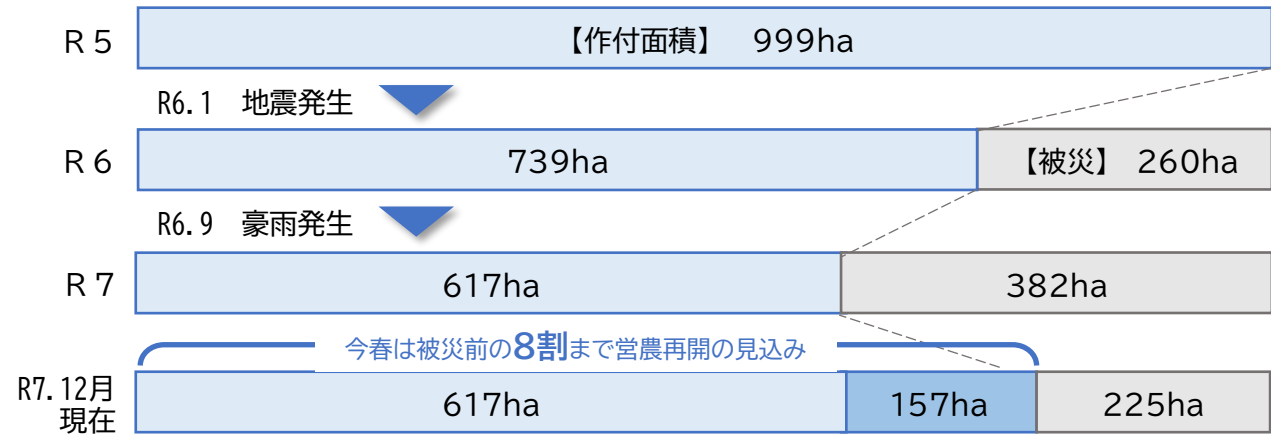
## 営農再開の見込み

○ 地震および豪雨により被災した382haの農地について、県内外の建設業者の協力を得ながら**157ha**の農地を復旧



堆積土砂を除去中の農地（下黒川町）

## 【作付面積の推移】



## 営農再開の促進

### 農業機械再取得等支援事業

農業用機械や建物などの再取得や修繕などについて国の交付金に乗せ補助（補助率 9/10） ※林業・漁業にも同様の制度あり

### 農地、農業用施設の復旧

災害復旧事業の負担割合を軽減（農地3⇒0%、農業用施設2⇒0%）

### 農地等手づくり復旧支援事業

農地、農業用施設の自力での復旧を支援（1箇所40万円未満の簡易な修繕）

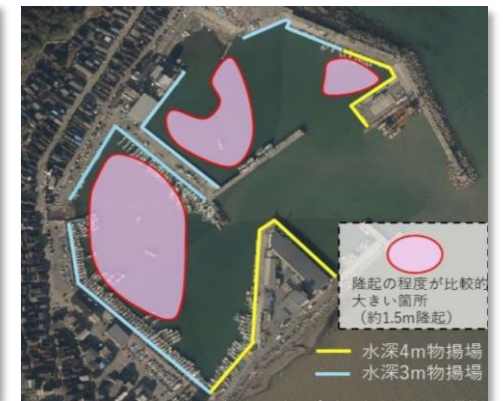
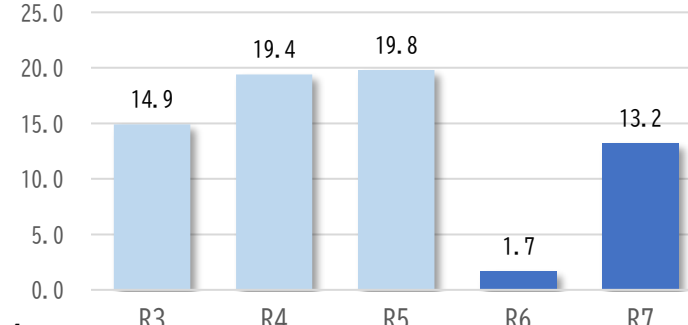


倒壊した農機具と倉庫

## 漁業の再開状況

○ 輪島港の浚渫や物揚げ場などの応急復旧により、水揚高は震災前の**7割程度**まで回復。今後は本格復旧とともに共同利用施設の機能集約・強化を図る。

【漁協輪島支所の水揚高（1～9月）】



## 輪島塗の創造的復興

○ 官・民・産地が連携し「漆芸の聖地プロジェクト」を推進。輪島を「漆芸の聖地」にするための取組を実施

### 養成施設の整備等（ハード）

- ・ 輪島漆芸美術館の西側に建設予定
- ・ ワークショップスペースなど産業観光の機能も付与

- ・ 整備に向けた基本設計等に着手済
- ・ 施設運営やカリキュラム等の検討開始



養成施設のイメージ

### 魅力発信・市場開拓（ソフト）

- ・ 輪島塗について理解を深め、将来の輪島塗の関係人口を増やす取組や輪島塗の市場拡大も必要不可欠

- ・ 輪島塗の海外展開を見据えた勉強会の実施
- ・ 児童生徒を対象とした輪島塗の製作体験会
- ・ 県立美術館での輪島塗の特別展の開催



## 職人への支援状況

○ 被災した輪島塗職人の事業再開を手厚く支援

### 伝統的工芸品産業支援補助金

- ・ 輪島塗製造に必要な原材料の購入費等を支援
- ・ 補助率：9/10（国3/4・市1.5/10）
- ・ 補助上限：国1,000万円、市200万円
- ・ 市申請数：195件（国申請数：300件）

## 輪島塗の海外展開

- 世界への情報発信や商品開発、海外での出展など輪島塗の海外進出を支援（1.5億円を予算化）
- 大阪・関西万博で輪島塗大型地球儀が常設展示されたパビリオンには、322万人が来場
- 大相撲ロンドン公演で招待客に贈呈する伝統工芸品に輪島塗ボールペンや輪島塗箸が採用



○ 創造的復興を目指し、被災した観光・宿泊事業者の再建を支援

## 震災復興観光振興推進事業補助金

- ・地域の魅力づくり、国内外からの誘客につながる取組を支援
- ・補助対象者：市内に事業所等の事業拠点があり、観光振興に資する法人、団体(任意団体を含む)、個人事業主
- ・補助対象：観光振興事業、観光物産振興事業
- ・補助上限：1事業者**300万円** 補助率：1/2(1000円未満切捨て)



## 被災宿泊事業者再建支援事業補助金

- ・被災した宿泊施設や設備等の本格復旧を支援
- ・補助率：7/8(国1/2・県1/4・市1/8)
- ・補助上限：国・県15億円、市**2000万円**
- ・市申請数：**0**件(県申請数：0件)

震災前 **47**施設 ▶ R7.11末日 **24**施設

## 能登復興・産業創出支援プロジェクト

○ 林業や漁業を含む4つの新たな事業に取り組む事業者を支援し魅力あふれる復興産業を創出

### 1 木質バイオマス発電事業

- ・地域の自立と持続可能性を支える街づくりの推進
- ・電気・熱エネルギーの地産地消
- ・環境に優しいエネルギー利用の促進

### 2 森林再生整備事業

- ・農林水産業(里山里海)の再興
- ・養殖等ベンチャー事業による新たな水産業の創出
- ・林業との兼業化による安定収入源の確保

### 3 熱を利用した魚の養殖事業

- ・農林水産業(里山里海)の再興
- ・循環型林業へシフトするための主伐再造林の推進
- ・未来の輪島の海の育成

### 4 漆の木の植栽事業

- ・輪島塗の再興
- ・漆の地産地消



# 子育て支援のための取組

○ 安心して子育てできる環境を整えるための取組を実施

## 副食費・保育料・児童クラブ利用料の無償化

- ・ 保育所等における副食費を市独自で無償化
- ・ 保育料や児童クラブの利用料を無償化 継続中



## インフルエンザ予防接種費用の無償化

- ・ 子どもと妊婦のインフルエンザ予防接種費用を無償化
- ・ 対象を高校生相当まで拡大
- ・ 経鼻弱毒生ワクチンを全額助成している自治体は県内で少数



## 子どもの遊び場の確保

- ・ 民間保育所等の園庭を提供

## 輪島市出産サポート119

- ・ 妊娠中から出産予定日等を事前に登録しておくことで、緊急時にかかりつけ医の指示の下、救急車等でスムーズに医療機関に搬送することが可能



# 持続可能な公共交通への取組 輪島市

○ 人口知能（AI）等の新技術や市民が参画する新たな交通手段の導入により利便性向上・交通空白解消

## 「のらんけ」から「のらんけ+」へ

- ・ 定時定路線の「のらんけバス」では、運行が困難に。
- ・ 利用者の希望時間と乗車バス停に配車。目的地までのルートはAIが選択するシステムを導入し「のらんけ+」となって、令和6年8月に試験運行開始。令和7年7月から本格運行へ

【利用実績】1日平均39.6人

## 自家用有償旅客運送「公共ライドシェア」の導入

○ 東部地区ライドシェア

- ・ 路線バスではカバーできない時間帯や通院、買い物など生活移動に、2種免許のないドライバーや自家用車でも旅客運送が可能な公共ライドシェアを東部地区で導入

【利用実績】東部エリア内：1日平均2.78人 東部⇄市街地便：2.14人

○ 市街地夜間ライドシェア

- ・ 夜間の交通手段がない中で、再開する飲食店等の支援も含めて夕方6時から夜10時30分を最終受付で運行開始
- ・ 飲食店等の営業時間に合わせ令和7年8月から夜12時まで拡充

【利用実績】1日平均3,28回

- 奥能登の公立病院は、震災前から高齢化と人口減少で患者が減り、今の体制のまま各市町で病院を維持することが困難
- 再編統合による**集約化**により**病院機能を維持**(人口減少社会に適応した持続可能性の高い病院を構築)

## 再編計画

### 新病院(のと里山空港周辺で建設)

- ・救急機能を集約し、断らない救急を実現
- ・診療科：4病院が持つ診療科を概ね継承
- ・入院機能を集約化。病床数：150~200床程度
- ・大学病院等と連携し、総合診療医を養成
- ・最先端の予防医療を提供
- ・高度急性期医療は能登中部や石川中央医療圏と連携
- ・新病院での分べん実施に向け、強い思いを持って取り組む

### サテライト(市立輪島病院)の役割

- ・一般外来(総合診療科・内科・整形外科を想定)
- ・人工透析など地域に必要な機能を維持
- ・総合診療医が巡回し新病院と連携
- ・電子カルテ共通化、医療DXにより情報一元化

基本構想 → 基本計画 → 基本設計 → 実施設計 → 建設 → 開院まで約**6~7年**程度

## アクセス・運営体制

### 新病院のアクセス確保

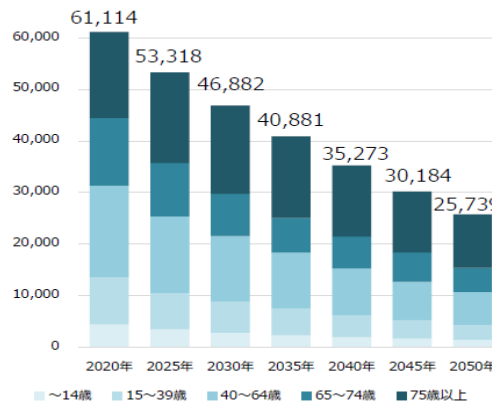
- ・自家用車以外の移動手段の確保が必要不可欠
- ・市街地~新病院間の交通手段の在り方について検討

### 石川県と4市町による新たな運営体制

- ・県と4市町で「一部事務組合」を設立
- ・新病院とサテライトを一体運営



能登北部の将来人口推計



(出典) 国立社会保障・人口問題研究所 ※2023.12推計

奥能登公立4病院の純損益 (単位: 百万円)

区分	R4			R5			R6			
	純損益	コロナ病床確保料を除く	繰入金を除く損益	繰入金を除く損益	一般会計繰入金	純損益	繰入金を除く損益	一般会計繰入金		
輪島病院	855	▲231	▲537	306	▲227	▲598	371	▲586	▲920	334
珠洲病院	88	▲61	▲377	316	▲571	▲845	274	▲245	▲840	595
穴水病院	302	251	▲31	282	▲111	▲390	279	▲128	▲396	268
宇出津病院	▲3	▲39	▲252	213	▲320	▲532	212	29	▲585	614

※コロナ病床確保料を除けば、令和4年度以前から厳しい経営状況にあった中で、能登半島地震の影響により、さらに悪化し、一般会計から多額の繰入れによって経営を支えている状況にある。

(出典) 総務省地方公営企業等決算統計

# 学校再編について

- 学校規模の小規模化が進展するところ、学校の活性化、教育指導の充実及び教育水準の向上を図るため一定の学校規模を確保します。
- 創造的復興・持続可能なふるさと輪島を担う人材の育成を目指し、よりよい教育環境を整えます。

## 再編計画

### 適正規模・適正配置について

- ①次代を担う児童生徒に必要とされる資質・能力を形成する学校の使命を果たすための学習環境提供体制を構築する
- ②地理的条件を踏まえ、中央地区、東部地区、西部地区のそれぞれに再編する
- ③可能な限り複式学級の解消を目指し、学校規模の標準(小中12~18学級)に近づける

## 新校名・校歌

### 【中央地区】

校名：輪島市立輪島小学校  
校歌：作詞・作曲 大黒摩季



### 【東部地区】

校名：輪島市立東陽小中学校  
校歌：作詞 中西進 作曲 新井満

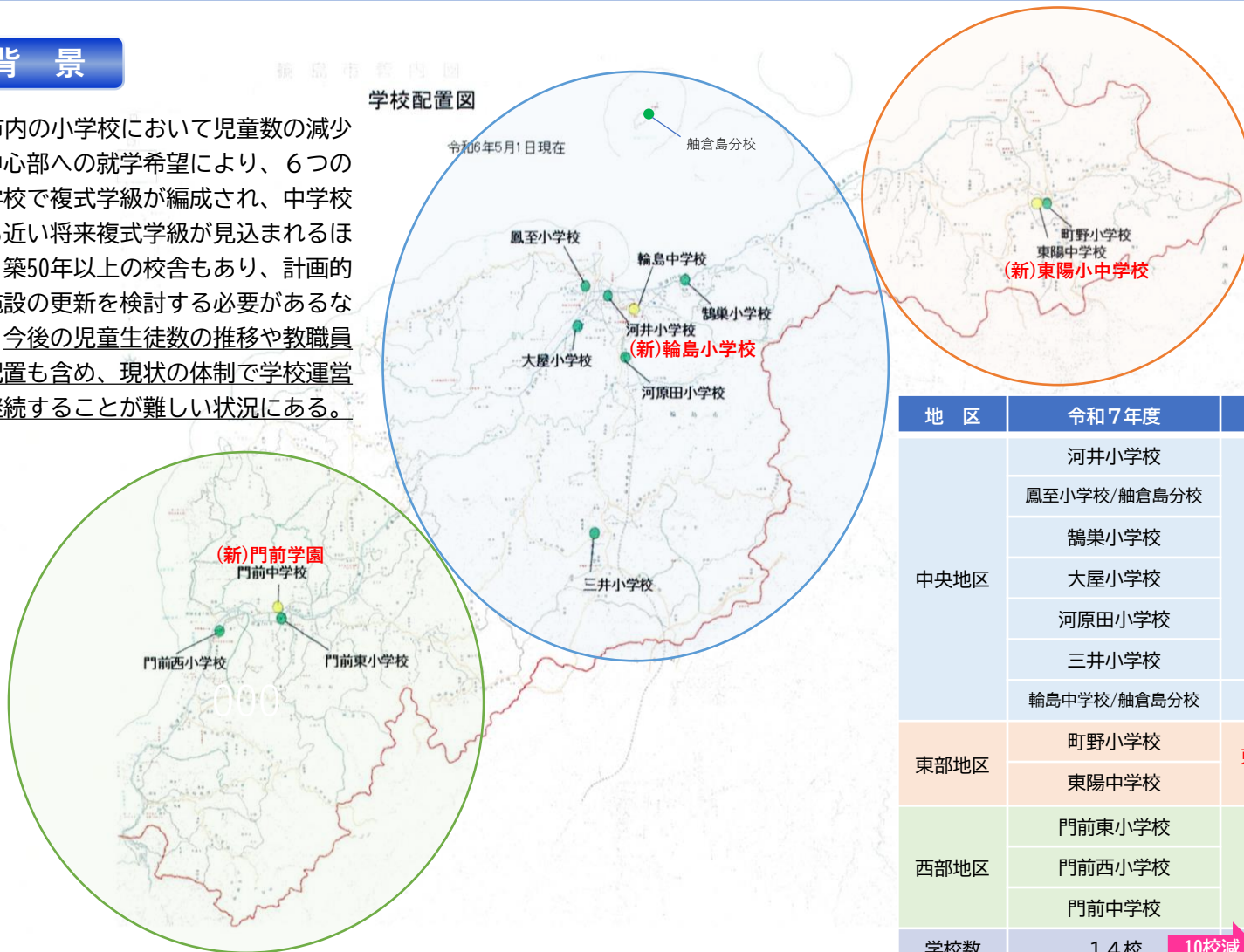
### 【西部地区】

校名：輪島市立門前学園  
校歌：作詞 及川眠子 作曲 宮川彬良

## 背景

市内の小学校において児童数の減少や中心部への就学希望により、6つの小学校で複式学級が編成され、中学校でも近い将来複式学級が見込まれるほか、築50年以上の校舎もあり、計画的に施設の更新を検討する必要があるなど、今後の児童生徒数の推移や教職員の配置も含め、現状の体制で学校運営を継続することが難しい状況にある。

学校配置図



地区	令和7年度	令和8年度	
中央地区	河井小学校	輪島小学校	
	鳳至小学校/船倉島分校		
	鶴巣小学校		
	大屋小学校		
	河原田小学校		
	三井小学校		
東部地区	輪島中学校/船倉島分校	輪島中学校	
	町野小学校	東陽小中学校 (義務教育学校)	
東陽中学校			
西部地区	門前東小学校	門前学園 (義務教育学校)	
	門前西小学校		
	門前中学校		
学校数	14校	10校減	4校